



台灣新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2014年10月1日号 東京発行 NO.210

発行元: 有限公司 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 TEL:03-5917-0045 FAX:03-5917-0686 http://www.taiwannews.jp E-mail:info@taiwannews.jp
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価350円(税込) 定期購読12回:3,500円(税込) / 24回:7,000円(税込) ◎郵便振替:00140-4-594168

続けて読むから「台湾」が解る

お得で便利!! 毎月第1月曜にお届け!

年間定期購読

1年 無料でお届け!

2年 1年契約で700円お得!

※12回発行で購読料3,500円(1部350円×12=4,200円)

~お申込みはかんたんです(住所・電話番号・お名前・契約月)~

お申込み窓口 (TEL03-5917-0045 FAX03-5917-0686)まで

メールでも受付中! (info@taiwannews.jp)

李登輝元総統が5年振り6度目の来日、「日台は運命共同体だ」



が重要”かを判断する必要がある。これは日本人にとっては非常に難しい問題だ」とした。

一方安倍晋三総理との面会が期待された李登輝氏だが、面会は行われなかった。「APECを間に控えた中国と日本の関係を気遣つたのではないか」と、日本李登輝友の会・袖原正敬事務局長は推察している。

体調が心配されながらも全てのスケジュールをこなした李登輝氏は25日、離日を前に札幌市で同行記者団と会見し「年はとったが、必要があれば何度でも来ますよ」と再来日への意欲を語り、帰国した。

李登輝氏、日本に真の自立を促す

李登輝氏は滞在中の20日・21日と2日間にわたり講演を行った。大手町サンケイビルで行われた東京講演会では「日本が真の自立をするためには憲法の改正が必要不可欠」、「自分の国は自分で守るべき。戦力保持は必要」と、集団的自衛権について言及した。91歳とは思えぬしっかりとした口調で約1時間にわたり聴衆に語りかけた。

憲法改正がいま日本の1番の課題」と指摘する李登輝氏は、安倍晋三総理が集団的自衛権の行使を認めたことについて「これは戦後長らく続いた日本の不正異常な状態を正し、再生していくための第1歩だ。行使容認を決断した安倍総理には心より敬意を示したい」と話した。さらに「現代の日本国憲法は元々英語で書かれ日本語に書き換えられた憲法だ。つまりアメリカが日本に二度と歯向かわないように創られたものである。特に第9条では日本が軍事力を持つ事を禁じて、アメリカに依存するほかなかった。だがアメリカが衰退している今、リーダーが不在の世界に於いて日本は岐路に立たされている。軍事力保持はすなわち、戦争という事ではないのだ。自分の国を守るために手段である」と述べた。

また、日台関係については「日本と台湾は運命共同体だ。日本が良くなければ台湾も良くなる。その反対もそうだ。また、日本の自立はアジア全体の平和にも繋がるだろう。眞の国家として日本が歩む事を心より期待している」とし、講演を締めくくった。

講演後は拍手が鳴り止まないなか曾文恵夫人も壇上に上がり、衆議院の長島昭久議員から花束が贈呈された。長島議員は「日本は自立していくしかなければならない」と李登輝氏に激励して頂き、私も政治家の一人として重く心に受け止めた。これから台湾関係法含め国会でしっかり日本の国民の皆様の理解を得られるよう努力していきたいと思う」と述べた。また来賓として訪れていた拓殖大学



太陽光視察に同行した参議院・江口克彦議員の渡辺利夫総長は「李登輝氏の意見に賛成だ。日本が日本を守ろうとしないのに、アメリカが日本を守ってくれるわけがない。これは当たり前のこと。日本が自国を自分たちで守り自立していかなければならない」と話した。

講演会を通して多くの日本人を激励し感動を与えた李登輝氏について22日、李登輝氏の太陽光視察に同行した参議院・江口克彦議員は「李登輝氏は世界でも卓越した政治家であり、台湾の誇りだろう。台湾が発展していくためには“李登輝精神”に戻らなければならない。台湾は中国の属国ではなく台湾

TOPIC	
日本語版	4面
●今、行くなら台湾地方都市! ~台湾観光誘致団PR活動で魅力を発信~	6面
●台東県長来日で日ハムが 「台湾・台東県スヘルバナー」を開催	
中国語版	2面
●東京媽祖廟慶周年 宣布設緊急救難基金	4面
●前總統李登輝訪日 従世界觀點看台日關係	8面
●日本房屋投資快訊	

WEBでもニュース記事が読みます
<http://blog.taiwannews.jp>



という国家だ。先日台湾で“ひまわり学運”があったが、あれは李登輝精神に基づいた行動だと思う。私も、必ずや若い人たちが李登輝精神を出発点にし、日台の関係をより良いものにしていくと期待している」と述べた。

太陽光発電所視察で将来の電力事業を思慮



氏は電気代や送電による漏電量などについて20分ほど質問をした。最後に4階の展望室にて実際に設置された太陽光パネルを熱心に視察するというスケジュールだった。

現在、台湾では、福島の原発事故をきっかけに、第4原子力発電所(新北市)の建設に反対する声が高まっている。これを受け台湾政府では、安全検査後に同原発1号機と2号機の稼働凍結や工事停止の方針を決めている。



東電側の説明に熱心に耳を傾ける様子

李登輝氏「2014日本訪問の旅」日程表

19日	関西国際空港に到着、ザ・リッツカールトン大阪にて記者会見
20日	最新のがん治療法「ホウ素中性子捕捉療法」に関する会議に出席 大阪で自身の講演会、夕食会
21日	東京で自身の講演会、夕食会
22日	日華議員懇談会の平沼赳夫会長、藤井孝男幹事長、江口克彦参議院議員、産経新聞・熊坂隆光社長らと昼食会 川崎市内にある東京電力の浮島太陽光発電所を視察
23日	北海道へ、千歳市内の苦楽園・龜田牧場で和牛飼育の現状など視察
24日	体調不良により一部スケジュールを取りやめ休養夜は札幌市内のお寿司屋さんを訪れ、家族で食事
25日	札幌パークホテルにて同行記者団並びに公式カメラマンらと茶話会 新千歳空港から台湾へ帰国



東京講演にて日本に真の自立を促した

について「スコットランド独立問題に対しては台湾側としても学ぶことが多い」とし、「この機会はおそらくスコットランドとイギリスの関係をさらに密接にさせるだろう。スコットランドの失業率が高い問題も、イギリスはまさに協力的になるのではないだろうか」と述べた。また、台湾関係法については「東南アジアの国は日本の協力を強く望んでいる。日台は心と心の連帯関係だ。しかし外交関係がないという特殊な関係のため、日本に台湾関係法をつくるべき。しかし日本は“中国が重要”か“台湾

宅配利用で遠くからでも利用OK

パソコン処分したいんだけど…どうすればいいの?

【依頼者にお得情報】

デスクトップSET
ノートPC(液晶割れ不可)
液晶モニター(液晶割れ不可)

QUOor 図書カード
どちらもプレゼント
(事前のご連絡お願いします)

パソコン

データの破壊サービス付

当社に依頼されたパソコンは全てHDD破壊付です。
ご希望の方は、その場で破壊致します。

壊れ・古いお引受け致します

解体分別一再資源なので、ゴミではありません。
家電リサイクル品目(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)は別途ご相談下さい。

その他高価買取

【そ 鉄 ア コ ン 非 工 他 高 価 買 取 し ま す】

スクラップ 高価買取

なんでもご相談下さい

JAB JAPAN ISO 9001 UQAS

<http://www.shinrikogyo.co.jp>

信利工業(株)
(大阪台湾同郷会 会長: 池平美香)

世界の見え方は、あなた自身の視点で変わる

I SEE YOU

エバー航空は、スターアライアンスに加盟。皆様と一緒に多くの感動を。

EVA AIR A STAR ALLIANCE MEMBER

WEB限定運賃 45日前、21日前までの購入がおトクです!台北行16,000円~



双十国庆節祝辭

台北駐日經濟文化代表處 代表 沈斯淳

10月10日は中華民国の建国を祝う双十国庆節記念日です。1911年の辛亥革命から数えて、今年は103回目の国庆節を迎えることとなりました。中華民国(台湾)と日本は、長きにわたり友好関係を維持し、さまざまな分野において、緊密な交流を図っております。

台湾と日本は歴史的、地理的、文化的に非常に縁が深いことから、馬英九総統は2008年に就任以来、お互いの関係を「特別パートナー関係」と位置づけ、特に経済・文化・観光などの分野の交流に力を入れており、大きな進展が見られております。現在、台日関係はこの40年余りの間で、最良の状態となっています。

東京と福岡で故宮展開催

今年、日本で最も注目を集めている台湾関係のイベントは、台北・国立故宮博物院の「神品至宝」展です。6月24日から9月15日まで東京国立博物館で開催され、来場者は40万人を記録し、盛況のうちに東京での展示を終えました。10月7日からは福岡県の九州国立博物館に巡回して11月30日まで開催されます。東京国立博物館では門外不出の「翠玉白菜」が展示され、話題を呼びましたが、九州国立博物館では、見た目が豚の角煮にそっくりな「肉形石」が期間限定で特別展示されます。

この展覧会は、2011年3月に日本の国会で「海外美術品等公開促進法」が成立し、故宮展の日本開催の保障となったことにより、実現したものです。法案成立にご尽力された日本の日華議員懇談会をはじめとする国会議員の先生方のご協力に、改めて御礼申し上げます。また、2016年には台湾の国立故宮博物院南部分院で「日本宮廷美術コレクション」展の開催を予定しています。これらを通して双方の文化交流と相互理解が一層深まるなどの分野の交流に力を入れており、大きなことを期待しています。

ますます増える台日間の往来

昨年、台日間の往来者数は370万人を突破し、特に台湾から日本への旅行者数は234万人で、過去最高となりました。また、今年1月～7月の訪日外国人客数は、台湾からがトップになりました。さらに今年上半期の時点では、日本から台湾への旅行者数が78万人、台湾から日本への旅行者数が146万人、合わせて224万人であり、年間400万人の大台を突破できる見通しです。

強まる台日間の経済連携

日本は台湾にとり第2の貿易パートナーであり、台湾は日本にとり第5の貿易パートナードです。昨年の台日間の貿易額は623億ドル

を超え、非常に緊密な経済・貿易関係が伺えます。台日双方は2011年に「台日投資協議」に調印後、「台日産業連携架橋プロジェクト」を始動し、産業連携の円滑化を図り、さらに昨年11月には「電子商取引」、「鉄道交流」、「海上航空機捜索救援」、「優先権書類電子的交換」、「薬物規制」、「金融監督管理」などの協力を進める覚書や取決めに調印し、「積み上げ方式」による経済協力を着実に進めてきました。今後は台日間の「経済連携協定」(EPA)や「二重課税回避協定」(DTA)の締結に向けて努力してまいりたいと思います。

台湾の地域経済統合参加

台湾にとって対外貿易は経済成長の鍵を握っており、グローバル経済化が急速に進むなかで自らが発展していくには、主要貿易パートナーとの貿易自由化推進や、地域経済統合への参加が欠かせません。我が国は昨年7月にニュージーランドと、11月にシンガポールとそれぞれ経済連携協定に調印しました。同時に、「環太平洋パートナーシップ協定」(TPP)や「東アジア地域包括的経済連携」(RCEP)などの地域経済統合への参加を目指しており、台湾のTPP交渉参加国との貿易額は、対外貿易総額の34%、RCEP

参加国では57%を占め、この二つはいずれも台湾にとって極めて重要です。

我が国がTPP参加に関して、6月18日に、日本の佐藤藤・外務報道官は、「APEC(アジア太平洋経済協力)のエコノミーに開かれた協定であるので、台湾がTPP参加に関心を寄せているということは良いことである」と述べ、歓迎の意を示しました。我が国がTPPやRCEPといった東アジアの地域経済統合に参加することは、日本との経済貿易関係の強化にも有益であり、より一層の互恵関係が構築できるものと確信しています。

台湾と日本は、自由、民主主義、人権、法治などの核心的価値観を共有しており、これらを踏まえて、地域の安定と繁栄を守るために、緊密に協力していく必要があります。

特に原子力安全、防災、防疫、少子高齢化などの分野は、台日共通の課題であり、共に知恵を集めて協力していくことが望まれています。

野球の物語を通じた感動の共有

1931年に台湾の嘉義農林学校が夏の甲子園大会に出場し準優勝した歩みを描いた映画『KANO』が今年、台湾で大ヒットしました。この映画は日本人の俳優も多数出演しており、来年1月に日本でいよいよ公開され

台北駐日經濟文化代表處
沈斯淳代表

ます。その際には、日本でも大きなブームを呼ぶことでしょう。野球の物語を通じた爽やかな感動が台日で共有され、両国の友情が、より強固になることを期待しています。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、中華民国と日本国の一層の友好と発展を願い、私の挨拶とさせていただきます。

【台北駐日經濟文化代表處
2014年10月10日】

台南市長賴氏訪日で台南の未来を語る



意向を示した。

これまで日本と台南の政府間の関わりは密接であり、賴市長によると今までに100人以上の日本の国会議員が台南を訪れたという。訪問中の国会議員は皆、台南でダムを造ったことで有名な八田與一記念公園を訪れ、異国で活躍していた日本人の先輩を敬うとともに

「賴市長は11月の台湾6大都市選挙を控えているということもあり、在日台湾人に向け講演会を企画した。賴市長は医者出身の政治家で、我々日本台医人協会としても特別な感情がある」と開催の趣旨を述べた。

なお、賴市長は今回の訪日で自身の講演会と添付知事との面会のほか、以前台南でも開催され、このほど東京で行われた展示会「台湾の近代美術—留学生たちの青春群像(1895-1945)」にも参加した。また、台南のガイド&エッセイ「わたしの台南」本当に台湾に出会う旅を出版した一青妙さんの講演会にも参加するなど、滞在中は有意義な日程をこなしていた。



日本台医人協会・大山青峰氏から記念品を贈呈される賴清德市長

台湾食品系中小企業14社が日本のおもてなしを視察

台湾・経済部中小企業処は現在、台湾中小企業のさらなる向上を目的に「中小企業感質優化推進計画」を実施している。その一環として台湾の食品系中小企業14社(計25人)が9月3日、東京ビックサイトで行われた「第78回 東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2014」及び同時開催の「第16回グルメ&ダイニングスタイルショー秋2014」を視察するため訪れた。

この視察は、今年で実施6年目を迎えた「中小企業感質優化推進計画」における初めての訪日視察であり、9月2日より5日まで滞在した。滞在中はビックサイトのイベント視察のほか、日本でも話題の施設「三重テラス」や「タニタ食堂」、墨田区の地域ブランド推奨制度「墨田モダン」についてのセミナーなどに参加するなど、日本の食品系中小企業のサービスや経営などについて理解を深めていた。

同企画名に入っている「感質」の2文字は、主催者が「人間の感覚をプロダクト及びサービスに反映させ、質の表現におおす」という意味を込めて造った造語で、同企画のテーマとなっている。商品とサービスを通してユーザーに感動をもたらすことを課題としており、「おもてなし」文化のある日本をサービス面で優れているとの評価から、このほど日本の視察が実施された。

同企画の運営をする台湾デザインセンター・簡思寧組長は「台湾は製造を得意とする一方で、サービスの面ではあまりノウハウを持っていないのが現状だ。ユーザーとの接点、データの扱い、ニーズの見出し方はこれからもっと学ばなければならぬ。物だけではなくサービスの面でも良くしていくのが目標だ」と述べていた。

また、日本市場を視察した参加者は「日本の店づくりは、ディテールまでとことん拘る事にはとても印象的でした。商品自体にとどまらず、店頭での見せ方、ラインアップ



タニタ食堂視察の様子(写真提供:台湾デザインセンター)

の構成、照明のあり方、スタッフの対応など、あらゆる面においてブランドを表現すること、徹底的に実践することととても勉強になりました」と話していた。

同企画は、台湾では半年前から週に2回のセミナーーやワークショップを行い、改善点の確認や必要なフォローなどを行っている。最近実施している計画としては、米販売を行う農都有限公司の「顔が見える米」が挙げられる。これは台湾・花蓮地域で米を生産している様子を田んぼにカメラをつけ、24時間リアルタイムで米の栽培を見ることができるよう工夫したもの。こうした取り組みは、台北など大都市の消費者に直接販売すること出来ない現状に対応した施策。現地の水の綺麗さや小鳥の鳴き声、そして風の音などを台北の消費者に訴求する事を生産者の努力で実施している。消費者に感動と安心を与えることが出来るという考え方だといふ。

今回の日本視察で得た知識を生かし、参加企業14社がどのように成長していくのか期待がもたれる。



「中小企業感質優化推進計画」訪日視察団の皆さん(写真提供:台湾デザインセンター)

日本台湾商会連合総会が代表処訪問で義援金手渡し



発事故(以下:高雄81気爆)に対する哀悼の意を表すため、台北駐日經濟文化代表処(沈斯淳代表=東京都港区)を訪問し、義援金を手渡した。同会の謝総会長をはじめ、錢妙玲副会長、林裕玲副会長、河道台秘書長、王明裕副会長ら約11人が訪問し、現金890万を沈代表に手渡したもの。このほか東京、大阪、千葉の台灣工商會議所及び大阪婦女会、大

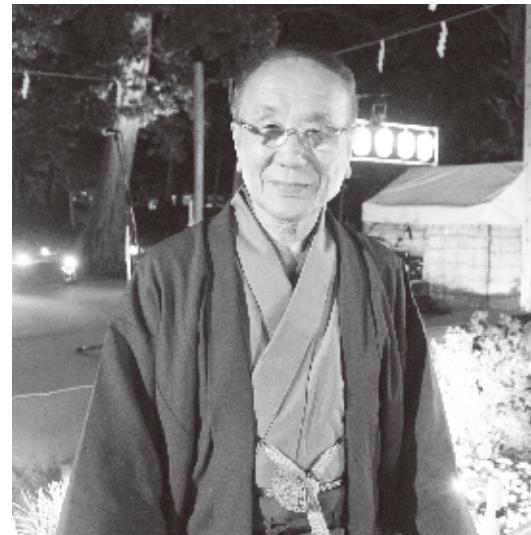
阪台灣同鄉会からの義援金を後に寄附する意向も説明した。これらを合わせて義援金の総額は1200万円となる。

沈代表は日本台湾商会連合総会の高雄81気爆に対する関心と義援金の寄附に感謝の気持ちを表したほか、「復興は1番大切だ。11月、12月は道路の整備も進んでいく予定である」と高雄市の現状について話した。また同処の王副会長が高雄出身ということで、多額の寄付をした日本台湾商会連合総会メンバーに感謝の言葉を述べた。

なお、謝総会長は「義援金が高雄市の復興に貢献できることを願っている」と祈る気持ちを話していた。



片岡直公千葉親善協会会长が台湾関係者をお月見の会に招待



千葉日華親善協会・片岡直公会長



左から千葉県中華総会・陳清玉顧問、自由民主党・渡辺博道副幹事長、千葉日華親善協会・片岡直公会長、橋務委員会・陳炎生橋務委員会夫妻、東京台湾商工会議所・錢妙玲会頭、外務大臣政務官・蘭浦健太郎氏

千葉県・森田健作県知事と台湾関係者らの記念撮影
人らが出席した。

片岡会長は「台湾は外国の中で1番好きだ。実は約50年前、台湾と市川市は友好関係を結んでいたが国交断絶時には國から友好関係を反対された事もある。その時に私は『国交とは国と国との問題、これは人と人の繋がりです。国交なんて関係ない』と言つて反抗し、今でもその友好関係を続いているというわけだ。民間と民間の繋がりが大事。もっと積極的に民間が交流していくべき」と述べた。

また、森田知事は台湾関係者らのテーブルに訪れ記念撮影をし、「台湾大好き! We Love Taiwan!」と掛け声をかける姿も見受けられた。森田知事は今月末、訪台を予定している。

会場での開催となった。また、同会のメインイベントである津軽三味線の全国大会で優勝者・北村姉妹による三味線と増田厚司及び成田信人による琴の演奏が始まる頃には月見の宴の名にふさわしい綺麗な満月が姿を現し、会場を明るく照らした。

なお、同会には千葉県・森田健作県知事や外務大臣政務官・蘭浦健太郎議員、自由民主党副幹事長・渡辺博道議員、歴代ミス日本らなどが招かれており、2日間で約500人の著名

日台の音楽と舞踊で敬老の日をお祝い



の参加者らに記念品が手渡された。

記念品は「敬老の日は多年に渡り社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝うことを趣旨としています。お年寄りを敬愛する気持ちはいつも忘れてはいけないと想っています。今日のように、音楽と舞踊を通して普段お世話になっている皆様と素晴らしい時間を共に過ごせることは何より嬉しいことです」と述べた。

同会の公演では、吉祥樂舞團による台湾民族舞踊や星雲グループ及び絵美小雨&さくらによる日本舞踊、日本人歌手・鬼塚聖による歌謡、瀬川淑子の太極拳とセンスをコラボレーションさせた太極扇、そして、敬老の日を表して森田陽之助及び陽子親子による尺八演奏などが行われた。会場の観客も音楽にあわせ、手拍子をしたり一緒に歌ったりなどして、公演を楽しんでいた。

また、同会には来賓として台北駐日經濟文

化代表處・朱文清顧問や豊島区・中田兵衛議員、板橋区・長瀬達也議員、板橋区熊野町・古木勝利町長らも参加し挨拶した。

長瀬議員は「このようない台の触れ合いの場が板橋で開催されること、板橋の議員として大変うれしく思う。これからも日台の交流は続けて行ってほしい」と述べた。



台湾民族舞踊「阿美之鳳」

神品至宝展の来場者が40万人を超える大盛況

東京国立博物館(以下:東博)で開催した特別展「台北國立故宮博物院—神品至宝—」の総来場者数が40万2241人を突破し大盛況のまま幕を閉じた(東博関係筋情報)。東博ではこれまで入場者が10万人、20万人、30万人突破時に記念セレモニーを行つてきたが、特別展では40万人を突破。その達成期が閉会間際3日前のため用意が間に合わず、セレモニーは見送られた。

8月27日に行われた30万人突破セレモニーでは、75歳以上

ニーでは、同展オリジナルグッズとしてコラボレーションしている「ハローキティ」がチャイナドレスを身にまとめて登場し、記念すべき30万人目の来場者となった足立区在住の中学生・岸理香子さん(12)に同展オリジナルグッズのキティ人形がプレゼントされた。また、理香子さんと一緒に訪れていた母・順子さん(42)には東博・銭谷真美館長より同展の作品集が贈られた。理香子さんは「30万人目に選ばれてとても嬉しいです。ビックリしました。

頂いたキティ人形は玄関に飾りたいと思います」と緊張した面持ちで答えていた。理香子さんは夏休みの宿題である「博物館紹介」の題材にする目的で同展に訪れたという。

東博での同展は9月15日で終了しており、10月7日からは福岡県に舞台を移し九州国立博物館で改めて開催される。福岡では、東博で展示され人気を集めた「翠玉白菜」に並ぶ人気の文物「肉形石」が展示され、東博同様に多くの来場者が見込まれている。

台北市でデジタルタイペイ開幕～日本の作品も出展

台湾のデジタル技術が一同に介した台湾最大級のデジタルコンテンツイベント「デジタルタイペイ(台北国際数位内容交流会)」が、台北市の台大医院国際センターで始まった。台湾が誇るグラフィック界の最新鋭作品を取り揃え、また、日本をはじめとする海外からのデジタルコンテンツも集結。会場には若

手クリエイターや大学の芸術学関連の教授、デザイン専攻のアシスタントなども出席した。また、アニメやキャラクターコンテンツに魅せられたファン層が男女問わず、ハイテクノロジーの世界を体感しようと訪れた。

会場では、台湾テレビ局のニュース収録なども行われ、各分野の専門家がインタビュー

に対応。日本からの視察団も訪れ、世界最先端と言われる技術を体感した。特に3D映像は日本では流通していない部分もあり、日本人参観客も「台湾は相当進んでいる」と感慨深げだった。

会場内では、日本と台湾のクリエイター達が交流するイベントも開かれた。作品を通じ

台日作家交流トークイベントで日本統治時代の台湾を語る



家たちは非母国語で文学を記さなければならなかったといふ。そして戦後、統治から解放された台湾の作家たちは新しい国語である中国語を用いた。台湾の文学者たちはこうした世代別の言語の壁を乗り越えてきたという背景を説明した。

一方黒川氏は、日本人からみた日本統治時代の台湾文学について「日本統治時代の台湾文学を読み返すと、当時の文学者らがいろいろな葛藤の中で生きて、そして記してきたと

「政治は人を別つが文学は人をまとめる」と語る陳芳明氏

台湾で金鼎獎を受賞した陳柔緝氏の話題作「日本統治時代の台湾写真とエピソードで綴る1895～1945」が天野健太郎氏の日本語翻訳によりこのほど出版され、これを記念した台日作家交流トークイベントが文化部「跨域合創計畫」の一環として、9月5日、6日の2日間「西荻窪・旅本のまど」にて開催された。

初日の5日は台湾から文学者・陳芳明氏、作家・甘耀明氏が招かれ、日本在住の作家・温又柔さん、作家・黒川創氏と共に「日本統治時代・台湾を日本語で書く、中国語で書く」をテーマに語り合った。参加者の日本統治時代文学についての理解を深めた。

陳氏はイベントの中で「文学作品を読むことで作者の魂に触れることが出来るのだ。日本統治時代を知らない若い世代は当時の文学作品を読み、台日双方の理解を深めていて欲しい。政治は人を別つが文学は人をまとめるのだ」と若い世代へのメッセージを語った。

陳氏によると、台湾では日本統治時代、日本語が国語として用いられていたため作



日本人作家・黒川創氏

日本視察団、台湾技術の最先端ITRI(工業技術研究院)を訪問

日本で結成されたコンテンツビジネス視察団が、新竹市のITRI(工業技術研究院)を訪問、台湾の最先端技術を体感した。視察団の代表として、福岡県商工部の吉田憲和・新事業展開支援室長が「これまで台湾からお招きしてきたが、今回は我々の方から出向形となった。デジタルコンテンツ分野で台湾企業との交流を図りたい。台湾産業全体の現状の把握と、幅の広い産業との連携、ビジネスのきっかけを作っていく」と挨拶した。

工業技術研究院の張滋輝・資深専案經理は訪問を受け、「お越しいただき感謝している。我々は設立以降、情報通信分野、次世代通信にも重点を置いています。電子光電分野では、独創的技術を確立し、最先端テクノロジーと科学技術を統合。機械システムでは、医療と連携し、予防診断、ファインテクノロジーにも力を注いでいる」と方針を説明した。

工業技術研究院は地域産業発展にも

力を入れるため、台湾各地に工場を建設。従業員数は6000人以上で、職員にもボランティア活動を勧めていると言う。張滋輝・資深専案經理は「発明の面でも様々な賞を受賞した。地球上に優しい環境を考え、太陽光を利用した設備や二酸化炭素排出システムの開発も進んでいる」と現状を述べた。研究院内には海外からの訪問客用に数多くのディスプレイを展示。一つのスピーカーで多方向から音が聞こえる超音波を使ったシステムや、Wi-Fiがなくてもインターネットができる仕組みなど、日本でもなかなか見ることのできない先端技術を体験。日本のみならず欧米諸国からも視察団が数多く訪れていると言う。

訪れた視察団は、工業技術研究院で開発された光や音を使ったシステムや、新しいスマートフォンのアプリなど、実際に手を触しながら体感。昼食のため従業員で溢れる食堂を以て、台湾国内外から優秀な人材が集まる院の規模の大きさも実感した様子だった。

ずつが出来た。台湾からは陳威元氏制作の「SwimYourWay」、林静溶氏制作の「旅人奇遇」、陸弘喜氏制作の「Zazel」などが、日本側からは小原孝介氏制作の「SLAPSTICK」、ひだかしんざく氏制作の「安息日」、ハッピープロジェクト制作の「フルーティー」などが展出された。

簡単で効率のよい経理を支援します



大塚会計事務所

起業された方や、J-SaaS(サークル)やパソコンで会計を始めるという方へ、毎日の経理処理や経理作業を簡単に効率よく進められるやり方をご支援いたします。

お気軽にご相談下さい

〒171-0022
東京都豊島区南池袋2-12-1
佐伯池袋ビル306

TEL : 03-3985-5730
FAX : 03-3985-5731

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全國旅行業協会正會員

台北 ¥27,000(税別) 北京 ¥30,000(税別) 上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別) 韓國 ¥27,000(税別) 越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別) 曼谷 ¥32,000(税別) 新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

*銀行匯款口座 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店
(普) 3678888 (名義) 嘉南觀光(株)

営業時間：週一～五 9:30～18:30・週六 9:30～13:00

TEL : 03-3366-3988 FAX : 03-3366-2989

地址：〒169-0073新宿区百人町2-20-1第二岡田屋ビル401

大鑫産業株式会社

広めよう未来につながる
リサイクル社会

大鑫産業株式会社は、不用品や廃棄物のリサイクルを専門とする会社です。

非鉄
スクラップ 自動車部品 OA機器 基板 CPU
貴金属

◎電子部品、パソコン関係などの在庫処分にお困りの方は、DAIKINにご相談ください。
◎生基板、トナーカートリッジを販売、リサイクルいたします。

DAIKIN TEL. 0297-30-3308(代表) FAX. 0297-30-3309

本社: 〒306-0515茨城県坂東市沓掛6464 http://daikin34.com/index.html



Digest News

—1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります



Sep.09 大野衆院議員が馬英九総統を表敬訪問

馬英九総統は大野敬太郎衆院議員ら一行の表敬訪問をうけ会談した。馬総統は会談で「台日漁業取り決めは外交手段や国際法で争議を解決した重要なモデルである」と述べ、2年前に東シナ海周辺で緊張が高まった際、「東シナ海平和ニシアチブ」を提唱し、地域の安定のために尖閣諸島の領有権をめぐる争議の棚上げや、資源の共同開発を訴えたことを振り返った。さらに、日本側の協力に期待を示した。

Sep.09 中友百貨公司とリン・チーリンが共同でチャリティー販売

中堅百貨店の中友百貨公司は女優・リン・チーリンさんが設立した慈善基金会と共同で実施したチャリティー販売の売上金など231万台湾元(日本円で約820万円)を基金会側に寄付した。チャリティー販売は今年八月から行われ、リン・チーリンさんが提供したアカセサリーやバッグ、基金会の取り組みに賛同したアーティストの絵画などが取り扱われる予定。

Sep.10 日本の「うかい亭」が2016年に台湾・高雄に海外初出店

ミシュランガイドに7年連続で選ばれていける高級鉄板焼きの「うかい亭」などを展開する日本のうかいが、2016年に高雄市内のホテルに海外初出店する。店舗はホテルグループ大手のFIHリージェントグループ(晶華麗晶酒店集團)が高雄市内に建設中の

Sep.12 「CGアニカッブ」が台北に初進出

日本で1989年に設立した「CGアニメコンテスト」を継承するアニメ国際交流イベント、「CGアニカッブ」が初めて海外に舞台を移し、自主制作アニメのコンテストが台北市内で行われた。台中市庁舎で記者発表会が開かれ、「進撃の巨人」プロデューサーの

Sep.13 夏川りみさんが台湾コンサートで中国語の歌を披露

歌手の夏川りみさんが13・14日、台湾で6度目となるコンサートを行い、会場の台北国際会議センターに2日間で約5000人の観客が来場した。14日の公演で夏川さんは「海の彼方」「愛(かな)よ愛よ」など沖縄民謡を熱唱したほか、「手掌心」、「康定情歌」、「阿里山の姑娘(高山青)」の中国語曲

3曲も披露。夢中になったというドラマ「蘭陵王」のエンディング「手掌心」を歌い終わると会場では拍手が沸き起こった。アンコールでは台湾語歌謡の「雨夜花」と中国語の「月亮代表我的心」を歌って台湾のファンを喜ばせた。夏川さんは公演終了後も台湾に2日間滞在した。

Sep.14 隆昌暴行で警察官死亡

台北市信義区の繁華街で男性警察官が若者グループ約50人から集団暴行を受け死亡する事件が発生した。逃走していた主犯格の男らは当時、隣の席のグループと口論になるなど騒ぎを起こしたためにクラブ側から退出を求められ、これに立腹した男らが仲間を呼んで報復をしようと店に集まっていたという。

Sep.16 馬総統が平和賞「アイゼンハワー・メダリオン」を受賞

国際交流団体の「ピープル・ツ・ピープル・インターナショナル」(PTPI、本部:米カナダ)が設立した平和賞「アイゼンハワー・メダリオン」の今年の受賞者に、馬英九総統が選ばれた。台湾人としては2人目。台湾の政治家としては初。PTPIの関係者によると、馬総統は、東シナ海周辺地

Sep.16 CA機内食が有名ホテルとコラボ

チャイナエアラインは、桃園一成田線と松山一羽田線の日本便のビジネスクラス席で、10月1日からオーラブレステージ台北(台北大倉久和大飯店)とコラボレーションした機内食を提供すると発表した。今後1年間、季節の食材をふんだんに使ったメニューが

Sep.17 江宜権行政院長が食品安全問題の対策案

台湾で製造・販売される食品の安全性に不安が広がっている問題で江宜権行政院長は、悪質業者の違法行為により死者が出た場合、業者に対して無期または7年以上の懲役および、2億台湾元(約7億円)以下の罰金を科すなど8項目におよぶ対策案を明らかにした。江院長によると、食品安全に関する通報報奨金の増額や通報ホットライ

Sep.18 国防部が屏東県にて訓練を実施

国防部は中国大陆の侵攻を想定した「漢光30号演習」の一環として、台湾南部の屏東県にて敵の空挺部隊を包囲、殲滅する訓練が行われ、17日は東部沖などで海上及び海中からの攻撃に対する防御、反撃などを想定した実弾射撃演習が実施されていた。

Sep.19 復興航空のLCC・Vエアがバンコクへ

トランസアジア(復興航空)系のLCC・Vエア(威航)は、年末までバンコク行きの初便を運航する考えを表示し、同日、客室乗務員などが着用する制服も発表。春夏秋冬4パターンのデザインが公開されたほか、

Sep.19 台湾にてGU海外発進出

日本が誇るファストファッションブランドの「ユニクロ」を手がけるファーストリテイリングは、GU(ジーユー)の台湾1号店をオープンさせた。同社は10月の2号店と合わせて今年中に計2店舗を出店する。さらに来年も店舗展開の拡大を図る。台湾1号店は商業施設「ATT4FUN」内にオープンした約400坪の大型店で、10月17日にはデパート「明暉百貨」に2号店が開店する。GU単独での海外出店は今回初めて。

Sep.19 離島にセブン-イレブンがオープン

台湾でセブン-イレブンを経営する統一超商は、台東県の離島、蘭嶼で初となる店舗を開店した。オープン初日には住民に加えて旅行者も店を訪れるなど1000人近くが訪れるほどの人気ぶりえ、正午を過ぎる頃にはパンなどが売り切れてしまったと

Sep.19 江宜権行政院長「独立に関する公民投票の実施なし」

江宜権行政院長は、「台湾は主権を有する独立国家であり、グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の一部であるスクotlandとは状況が完全に異なると述べ、政府が独立に関する公民投票(住民投票)を実施することはない」とした。これは、立法院で与党・国民党の羅明才立法委員が江氏に対して行った、「もし市民が独立の賛否を問う住民投票を求めた場合、政府はどう対応するのか」という質問に答えたもの。

Sep.23 政府機関、LINE禁止へ

行政院の孫立群報道官は同院が各政府機関に対し、セキュリティ上の懸念があるとし業務用パソコンでLINE(ライン)などの無料アプリを使用禁止するとの通達を出したことを発表した。ラインを例に挙げた孫氏は、同アプリのホストコンピューターが韓国など海外で管理されており、パソコン版はハッカーからの攻撃により情報が盗まれやすく、セキュリティ上の問題があると指摘。個人の携帯電話やパソコンでの使用は禁止しないとしているが、非公開情報を伝達する際には使わないよう呼びかけているとい。

Sep.24 日台ワーキングホリデー制度のビザが5000件に拡大

交流協会は台湾側との合意を経て、実施され、各期の発給数の上限は1000件から2500件に引き上げられる。日台ワーキング・ホリデー制度は、台湾と同制度の年間2000件から倍以上の5000件に拡大すると発表。発給枠の拡大は10月27日から

台北駐日経済文化代表処・各分処 ～活動内容情報～

駐日経済文化代表処

沈斯淳代表が英語で多国籍の聴衆に講演

台北駐日経済文化代表処の沈斯淳代表は9月5日、政策研究大学院(東京都・六本木)の学生が直接各国の代表と面会し、話を聞く機会を得ることを目的に企画した「First Ambassadorial Lecture Series」の台湾代表として「台湾の外交政策および台日関係」についての講演を行った。同講演には各国の官僚や政策研究大学院の生徒らが参加し、沈代表は多国籍の聴衆の前で英語を用いて講演した。沈代表は日台関係について、双方間を往来する旅行客数が今年3月~6月連続で上昇であったことや、「国立故宮博物院・神品至宝」展がアジアで初めて開催され、文化面での交流も盛んで



駐那覇分処

沖縄高校生が訪台で書道交流。

沖縄県教育委員会は昨年に引き続き県内高校生書道優秀者20人を9月29日から10月4日の期間台湾に訪問させる。訪台中は台北市第一女子高校及び国立台湾師範大学附属高校と書道交流を行い、書道家の張炳煌教授の「電子書法」の講義及び作品評講を受ける予定。これをうけて駐那覇弁事処・蘇啓誠処長は9月19日、県下会議室で行われた「グローバルリーダー育成海外短期研修事業 沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラム 派遣団激励壮行会」にて出発前の学生を激励し、沖縄文化を台湾に発信して欲しいとした。なお、蘇処長は「学生たちは書道の日台相互交流を通して派遣団の高校生を激励した駐那覇弁事処・蘇啓誠処長」

駐大阪弁事処

蔡処長夫妻がだんじり祭りを鑑賞

駐大阪弁事処・蔡明耀処長夫婦は9月14日、大阪府議会副議長兼日華親善議員連盟会長の永野孝氏の招きで、大阪府・岸和田市のだんじり祭に参加した。総数35台で、1台あたりの高さ約4メートル、重さ約4トンもある「木製だんじり」の勢いのある疾走を観賞した。岸和田だんじり祭は、岸和田城主により五穀豊作を祈る祭りとして1703年に発足され、300年以上続く伝統的なお祭り。速度が乗つだんじりを方向転換させる「やりまわし」が最大の見所となっている。「やりまわし」は、観客の目の前で男女たちが体をぶつけ合い、転倒しながらだんじりとともに角を走り抜けるのが魅力だ。また、



駐福岡弁事処

戎処長夫妻が福岡国際映画祭の開幕式に出席

駐福岡弁事処・戎義俊処長夫妻は9月12日から21日までキャナルシティ博多、ユナイテッドシネマキャナルシティ13ほかで行われた「フォーカス・オン・アジア福岡国際映画祭」の開幕式に出席した。同式にはこのほか台北駐日経済文化代表処・徐瑞湖副代表・台北文化センター・朱文清センター長、台湾の有名な監督・蔡明亮氏らが出席し映画祭の開催を祝った。徐副代表は「同映画祭を通じて台湾映画が日本の皆さんに台湾の文化及び日台の歴史の関係を知って頂き、より一層お互いの理解を深めて頂きたい」と述べた。今回の「台湾映画大特集」には「對面的少女殺過來」と「山豬温泉」が上映。その中でも「KANO」は「特別試写会」として盛大に上映された。また、9月16日には「台湾映画大特集記念座談会」が催された。



駐札幌弁事処

陳処長が市政府と共に高雄をPR

駐札幌弁事処の陳姪宏処長は9月10日、札幌国際ビル貸会議室・国際ホールにて行われた高雄市政府主催の觀光推進イベント「台灣高雄市の觀光促進会」に出席。陳処長は日台双方を訪れる觀光客数が増加していることを歓迎しつつ、未だ北海道から台湾を訪れる観光客数が台湾から北海道を訪れる観光客数に及んでいない点や、高雄の素晴らしい環境等について言及し、「是非、北海道の人々も高雄へ旅行に行って欲しい」と期待感を示した。同会には高雄市政府觀光局の許傳盛局長、札幌市觀光文化局の可児敏章局長、北海道議会日台親善議員会の和田敬友会長、北海道日台親善議員会の和田敬友会長、北海道日台親善議員会の和田敬友会長、北海道日台親善議員会の和田敬友会長、



駐横浜弁事処

粘処長、静岡県訪問で日台の地方交流を促進

駐横浜弁事処・粘信士処長は9月5日、静岡市・田邊信宏市長及び静岡朝日テレビ・静岡放送・静岡新聞社など静岡県の主要なメディア関係者らと面会。田邊市長は「静岡市はスポーツ活動が頻繁で、特に日台青少年サッカー親善試合は相互交流の基盤になっていて。来年3月に開催する静岡県マラソン大会では、台湾選手団にも参加して頂く予定」と述べた。一方、粘処長は静岡空港に台湾への直行便を開設した事や昨年4月に台北市に海外事務所の設立後、静岡県と台湾との交流は盛んであることに言及した。粘処長は静岡朝日テレビ・北澤晴樹社長、静岡放送・桂英治社長及び静岡新

※資料提供:駐日経済文化代表処・各分処※

台東県長来日で「台湾・台東県スペシャルナイター」を開催



黄県長は陽選手に台東特産のお茶を贈った

台湾が誇るプロ野球選手・陽岱鋼が所属する北海道日本ハム・ファイターズは対福岡ソフトバンク・ホークス3連戦でスポンサーイベントの一環として初戦の9月9日、「台湾・台東県スペシャルナイター」を東京ドームで開催した。今期大活躍の陽選手の応援とともに、ドーム入口前のブースに台東県の観光紹介も行われるなど台湾の観光PRも兼ねた内容だった。また、陽選手の故郷である台東

県の黄健庭県長もこの日のために台湾から足を運び始球式を行い、さらなる活躍にエールを送っていた。

試合前、グランドで陽選手と面会した黄県長は、台東特産のお米やお茶の他に黄県長自身の著書、そして陽選手の子供のお土産に台東名物の熱気球のおもちゃを手渡した。陽選手からは黄県長に、自身の入形とスポーツタオルが贈られ、双方が笑顔で握手を交わした。

黄県長は陽選手について「陽選手は台東の誇りだ。機会があれば是非台東に凱旋して欲しい。今回のように日本で台東をPRする機会を作ってくれた球団と陽選手に感謝している」と述べた。また、台東県については「台東は池上の米やお茶などの農産物、また、熱気球がとても有名である。台東県は台湾で1番美しいところだ」とPR。会場に設けられた台東県PRブースには、日本語の台東県観光パンフレットやDVD、台東の缶バッヂなどが設置されていた。また、入場の際、2泊3日の台東旅行が当たる抽選番号が書かれたチラシが観客全員に配られ、7回裏終了後に当選者の発表があり、黄県長から直接賞品が渡されるなどの特典もあった。約1万人の中から選ばれた当選者は東京都在住の三

山麻紀子さん(38)。「当選して本当にびっくりしました。嬉しいです。今日は来てよかったです。台湾は今までに3回行ったことがあります。好きな選手はもちろん陽岱鋼選手」とコメントした。ちなみに当選番号は「950」で、これは偶然にも台東県の郵便番号だった。

一方、試合は日ハム陽選手が逆転2ランを放つなどの大活躍で、見事10-2の大差で日ハムが勝利を収めた。さらに陽選手はこの日のMVPにも選ばれ、ヒーローアイナビューアでは恒例となっている「サンキューで~す! ハッピーで~す!」と応えていた。

2泊3日の台東旅行に当選した三山さん夫婦
(写真中央)

伝統ある台湾の人形劇ポテヒが日本で公演



「台原偶戲團」によるアジアの人形芸能・ポテヒ(布袋戲)の公演

アジアの人形芸能・ポテヒ(布袋戲)の团体「台原偶戲團」は9月23日、東京都国立市のコミュニティスペース旭通りにて日本公演を行った。同公演はポテヒ日本公演実行委員会がアジアに於けるポテヒの交流を目的に主催した企画の一環で、別日には台湾の他に日本初来日のインドネシア団体「Fu He An(福和安)」による公演や台湾、インドネシア両団体によるワークショップ&デモンストレーションが開催され、日本人にポテヒの魅力を伝ええた。

23日の台湾単独公演では、中国語がわからない外国人でも楽しんで見られるよう言葉をあまり用いないタイプの演目「儀礼戲」と「台湾人形劇萬華鏡」が行われた。来賓として訪れていた台北文化センターの朱文清センター長もこれについて「私もポテヒは小さいころから見ていました。海外公演のために外国人向けの演目を用意して観客を楽しませている同団体は素晴らしいと思う」と述べた。

公演中は人形とは思えない繊細な動きや、衡(くわ)えたばこから実際に煙がでる演出、そして皿回しの演技などで観客を魅了した。公演後、観客らは実際にポテヒの人形に触ってみたり、舞台裏を見学したりして団員と交流していた。

初めてポテヒを見たという日本人女性は「1カ月前に台湾に行った時、ポテヒの事を知り、ずっと見てみたいと思っていたので今は楽しみにしている。人形にも実際に触らせてもらったが、頭の部分以外布で出来ているこの人形で色々な動きを表現しているということに感動した」と話した。

人形使いの賴世安さんは「今回は日本の

皆さんにポテヒを見て頂けてとても嬉しい。私たちは世界各国で講演しているが、国によって見ているときの反応が異なっていて、そこが面白いところだ。例えばヨーロッパや台湾で公演するときは観客の皆さんは会話をしたり大笑いしたりしながら見ているが、今日、日本のみなさんは静かに見ていたから楽しんでくれたか不安だったが、公演後に「楽しかった」と皆さんに声をかけて頂けて安心しました」と述べた。



人形使いの賴世安さん



「医療保障」「死亡保障」「収入保障」「先進医療」「教育資金」「相続対策」等
あなたに最適な保険がみつかります! “保険の相談” 無料出張いたします。

13社の生命保険商品を駆使し、
お客様のニーズにあったオーダーメイドの保険をお作りします



例えば... 東京海上日動あんしん生命の医療保険

新規1 健康なら払った保険料が戻ってくる“新しいカタチの医療保険”

新規2 新発売! 保険料が戻ってくる保険です!

新規3 一生懸命の医療保険を加入時の手頃な保険料で

メディカルkit R

新規 入院の有無にかわらず

入院の保障も手術の保障もしっかり!

※詳しい内容は(株)リンクサポートグループ(本部)へお問合せください

ご自宅・会社・店舗へ訪問してご相談し、最適の保険設計プランをお届けします。お電話、又はメールでご連絡ください。

(株)リンクサポートグループ(本部)

全国規模展開の専門知識でコンサルティングができる生命保険代理店

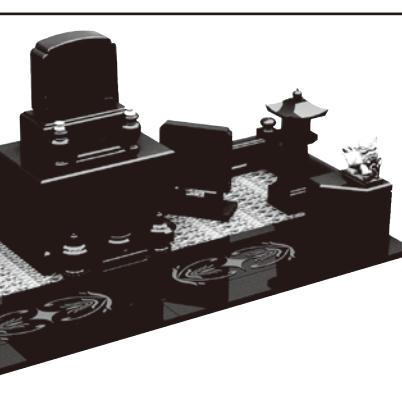
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館20階

[担当] HOSAKA

[直通TEL] 090-4748-8335

[E-mail] hosaka@adagio.ocn.ne.jp

[本部] TEL : 03-5288-5354 FAX : 03-5288-5359



新規募集

未来に向けた絆の象徴として僑民の皆様に愛される心のチャイナタウンを

発起人 中華民国留日大阪中華総会 日本関西台商協会 大阪台湾同郷会 中華民国在日近畿大学校友会 日本関西崇正会

便利なアクセス
恵まれた風水
住吉靈園内
〒658-0062
神戸市東灘区住吉台48番88号

台灣墓園

台灣華僑の皆様にご利用頂ける専用区画をご用意致しております

資料請求・見学予約・お問い合わせは TEL 078-982-3319 住吉靈園 靈園販売有限責任事業組合

一青妙さんの講演会に台南市長が激励

台湾人の父と日本人の母を持ち、歯科医や女優、そして作家として活躍している一青妙さんの講演会「わたしの台南」が9月13日、台湾協会の主催で日本プレスセンターにて行われた。同会は一青さんの最新刊「わたしの台南『本当の台湾』」に出会い旅」についての内容説明をメニューに進められ、台南の魅力や自身の台南での想い出話を披露した。同会には台南市・賴清徳市長一行も会場に駆け付け、一青さんを激励した。

賴市長は一青さんの新刊について「この本には台南でおこった様々なエピソードが書かれおり、それはどれも感動するものであった。台南は台湾で一番古い町である。台南では本当の台湾を知ることが出来る。是非この一青さんの本を読んでから台南に遊びに来てほしい」と述べた。また、一青さんは賴市長について「市長にお会いしたのは今日が初めてですが、いつも講演会で『台南の市長は台湾一のイケメン市長』と紹介していました。実際にお会いしてみて、写真よりもスマートで素敵なお方だなと思いました」と話した。

一青さんは今後の目標について「私は台湾の情報や、日本人の知らない台湾について書き続けていくことで、日本人にもっと台湾に着いて知って頂くお手伝いが出来ればなと思います」と語った。



台南市・賴清徳市長と一青妙さん



歴史に向き合う

台湾で発行されている日本語月刊誌『な~るほど・ザ・台湾』の編集長の志村宏忠さんから九份についてガイドのようではない原稿を書いてほしいと依頼された。『悲情城市』が公開されて25年になり特集を組むのだといふ。私は2007年に九份を舞台としたドキュメンタリー映画『風を聴く』を製作してその後も何度も九份を訪れている。台湾北部観光の拠点としての九份は日本のガイドブックにのっているが、中身は大差ない。土産品や飲食店が紹介してあるが、店から金銭を得て記事を書いている物もある。どれも『悲情城市』の舞台と記してあるが、ただそれだけ、実際、映画の中に一部、風景がでてくるだけである。多くの観光客は山にへばりつく家、石畳の階段と茶芸館、そこから見える海に驚き、満足する。『悲情城市』で一躍有名になったこの街との日本人の接し方は15年前と変わらない。日本のある映画館の支配人が「この作品を理解できる日本人がどれほどいるだろうか」といったことを思い出す。九份の街の成り立ち、そこで生きてきた人間の歩みを知つてほしいといったのが祖父の代からの鉱夫の江両旺さんだった。これが私の製作に繋がった。80歳を過ぎた江さん自身も街の歴史を書き残したいと思っていた。自費出版でもいいと会社に申し出たもの

のオーナーは無視。結局、県政府の手で江さんの記録は作られた。約60年間の金鉱の産業遺産の価値を今のところオーナーは認めていない。『風を聴く』が公開された2007年、日本の島根の石見銀山が世界遺産に登録された。明治期に石見銀山の本格的な採掘をしたのが藤田組である。藤田組は多くの技術者を石見からも送り出した。台湾が日本に割譲されると九份の鉱山に乗り出す。日清戦争後、隣接する金瓜石には田中組。藤田組はその後、九份の鉱山を顔面に譲り、田中組は日本鉱業に買収される。戦後、九份はそのまま顔家の掌では、金瓜石は台湾金銅礦物局(後に台湾金属礦業公司)へ。閉山後、金瓜石は黄金博物園区としてして整備された。この黄金博物館は、アジアで初めて鉱山遺構が世界遺産として登録された石見から学ぼうと交流が始まり、藤田組とのかわいらしい九份も射程に入れた展開になっている。ところが九份の今をひきつづけ顔家の企業は学術交流に協力的ではない。江さんはご存命であれば…(江さんは2010年に逝去された)。

私は常に思っているが、日本人は歴史に向き合うのが苦手であるようだ。特に近現代史はアジアでの戦争と不可分なので日本史の歴史があるため正視しない。ところが台湾

では李登輝が扉を開いた民主化は、台湾人が歩んできた歴史について見つめ直す動きがでてきた。1990年代からだ。歴史研究者をはじめジャーナリストが中心で私も何十人も知っている。若い人だけでなく日本語世代の人である。台湾の日本統治時代を生きた人々の証言と裏付け資料をとり同時に台湾で生きた日本人の証言と日本側の資料をも調査する試みである。私は取材の時、証言を裏どりする作業は必ずする。思い違いや誤解が多々あるからだ。話をきいただけではドキュメンタリーではない。それはリポートにすぎない。そうした作業は、台湾人にとって日本統治時代をノスタルジーとして語るだけでなく、台湾人自身が台湾で生きてきた意味を問いただすことになるだろう。それは、旧来のガイドブックに記されているレベルの「親日」のイメージを壊すに違いない。その時、私たち日本人が台湾人とどう向き合えるかが問われるのである。

台湾にシンパシーを感じる日本人が増えるのは喜ばしい。しかし台湾人の歩んだ道、歴史にも思いをはせてほしい。

一人でも多く、上々面ではない台湾を(台湾から)学んでほしいと私は思う。

第24回

林 雅行(映画監督)

『これぞ本場の台湾ライフ』(27)

作家 亞洲奈みづほ

「高級書店は書斎のよう」

台北の東部、忠孝東路と敦化南路の交わるあたりは、どこか新宿駅東口を思わせる一大繁華街だった。デパートが双璧をなし、間に有名ブティックも、のぞく。そんな買い物天国・“忠孝敦化”を歩きながら思う。台湾は背景に亜熱帯という土地がらと、中華という豊かな伝統文化を持つせいか、欧米的なライフスタイルを枠組みに、いろいろ個性豊かな製品を生みだしているのではないかと。たとえばシノワズリ中華模様をモチーフにしたプレタボルテ。または“桂花(キンモクセイ)”や“夜來香(マツヨイグサ)”の芳香剤。熱帯果実のフレッシュ・ジュース。スーパーには国産だけでなく、輸入品もバリエーション豊かで、加工製品に至っては、逆に中国大陸のスーパーの陳列棚をも彩っている。

ところで、この街の書店を訪れるたびに、自分の原形を、とりもどすような気がする。やはり自身が作家であるせいだろうか。とりわけ台北の大型書店は、「誠品書店」や「金石堂書店」など、石造りのエントランスに木目調のインテリアとクラシックのBGM、書斎を思わせる店内には、観葉植物が飾られていることもあり、ほのかな間接照明は、漢字のみの本を照らしかけていた。台湾国語は、中国大陸のような記号的に簡略化されたものではなく、日本の旧字にも似た繁体字であるために、日本人も漢字拾い読みの感覚で解読できる。



台湾の大型書店の店内には、座り読みのベンチや、“阅读カフェ”が併設されていることもある。買え買えの平積みや押しつけがましいキャンベーンからは、ほど遠い。本を消費の対象としてよりむしろ、ひとつ作品世界を、はらむものとして、その芳醇(ほうじゅん)な空気をも尊重しているように思われる。文筆業を営む者としては、感謝もこめた喜びを感じずにはいられない。——私たちの世界をかいま見てください——今度、私の片思いの台湾人に、何か日本の小説の翻訳版をプレゼントしてみようかと思う。

そんな私は、最近、仲の良い台湾人老夫婦が、まぶしく見えてならない。最も幸福な光景のひとつに見えてしまうのだ。試しに彼と並んで撮った写真をそのまま30年、経過させてみれば……いや、20年後でもかまわない。はたして白髪まじりの自分は、独りで原稿用紙にかじりついている。それとも隣りに誰か、よりそう人がいるのか、そのために幸せなのか、煩(わずら)わしそうなのか。できることなら白髪にへ

ルメットでスクーターを2人乗り、台湾各地の温泉めぐり、老荘思想そのままの生活。そんな老夫婦でありたい。……大変に渋い夢だと思う。

実際にこの地には植民地時代の延長として、台湾男性と結婚をはたした日本女性も少なくなく、日本のNHK衛星放送が視聴できるようになってからは、ずいぶんと救われたという話を聞く。台湾の地そのものに関して言えば、世界一、親日の国。日本人の生物学的なルーツが中国大陸の漢民族と南方の島民であり、いっぽうでまた台湾の生みの親・鄭成功が日本人と漢民族のハーフであるという、そんな台湾と日本なのだ。——なぜこんなにも魂(みたま)が、なじんでいるのだろう——

Information エンタメ/イベント/日台交流

羽田空港で台湾短編映画を観よう!



「シネマトラベル presented by SSFF & ASIA」
(写真提供:ショートショート実行委員会)

羽田空港国際線旅客ターミナル内にこのほど新設された「TIAT SKY HALL」で10月の土日祝日限定(計9日間)でショートフィルム上映イベント「シネマトラベル presented by SSFF & ASIA」が開催される。このイベントでベルリン国際映画祭短編部門銀熊賞を受賞した台湾短編映画『MEI』が上演される。同映画は台北のヌードル屋台で働くシャイな少年ジアンが、屋台のオーナーの娘のメイにひそかに片想いをする様子が描かれている。監督は長編映画『台北の朝、僕は恋をする』のアーヴィング・シェン監督。同イベントでは、台湾も含めた世界17の国と地域から全27作品のショートフィルムをセレクトし、7時~19時まで、ほぼ休みなく無料にて上映予定。また、10月25日(土)は、たかのてるこ(旅人・エッセイスト)を講師に迎えたワークショップが開催される。

お問い合わせ:03-5474-8844

「台北國立故宮博物院-神品至宝-」が九州で



東京国立博物館で開催された特別展「台北國立故宮博物院-神品至宝-」が40万人以上の観客を動員して9月15日に幕を閉じた。今度はその舞台を九州地区に移動して10月7日より11月30日までの期間、九州国立博物館にて開催される。東京の開催で大人気だった文物「翠玉白菜」に並ぶ貴重な文物「肉形石」が九州開催の目玉として10月7日~20日まで2週間の限定で公開される。「肉形石」は石材の縞目を活かし、角煮の赤身と脂身を表現したもの。北宋時代の文人蘇軾の名を冠して「東坡肉」とも呼ばれている。期間中は同展を記念し、台湾グルメフェアや講演会などの関連イベントも多く行われる予定。

詳しくはこちら→<http://www.kyuhaku.jp/event/event-140716.html>

クリエイティブ産業界とイベントPRで



台北市政府が交流

PRされるワールド・デザイン・キャピタル 台北 2016(写真提供:台湾デザインセンター)

台北市政府は、国際インダストリアルデザイン団体協議会(ICSD)が運営するデザイン界のオリンピック「ワールド・デザイン・キャピタル 台北 2016(WDC Taipei 2016)」PRのため、明治神宮外苑前総絵画館前で開催する「東京デザイナーズウイーク」のクリエイティブプラットフォームにブースを出展する。同ブースではPR用のお茶のティーバッグを無料配布する(会期:2014/10/25~11/3)。また会期中の10月27日には関連イベントとしてコワーキングスペース「MONO」(ゆりかもめ「テレコムセンター」駅からすぐ)にて「Taipei Night」も開催する。同イベントには台北市・副市長や文化局長、台湾のデザイナーらが来場しクリエイティブ産業界との交流を図る予定。

お問い合わせ:台湾デザインセンター日本業務窓口 03-5858-6828

台湾で活躍する日本人テレビ司会者 - MATSU

ラジオパーソナリティとして必要な 「数の多さを察知する能力」

台湾でゲスト出演の機会をいただいたり、日本ではパーソナリティとしてラジオと関わっている。パーソナリティは「おしゃべりが好きな人」なら誰でもできるようなイメージも持たれ勝ちだが、実際はそうではない。パーソナリティとしての仕事の一つ「ゲストを迎える」…これまで様々なゲストを迎えて感じるのは「ゲストとトークを展開する」という作業は「コミュニケーションにおいて必要な様々な要素」が詰まっているということ。

トーク番組で必要なのは「自分の聞きたいことを聞く」ではなく「多くの人が聞きたいと思っている」ことを察して聞く能力。つまり「数の多さ」の予測である。「表現において『数』を考えるのは邪道」という見方もあるかもしれない。しかし「公共放送」「誰が聞いているか分からない」状態において「数が多いであろう」方を優先して選択していくのは不可欠。新聞やテレビにおいて、「公共性」を背負った媒体であるならば、「多くの人が関心を持ちそうなこと」に寄せていくのは必要である。「話が内輪」というケースがラジオでは少くない。ラジオのトークに出てくる話が「番組内部関係者」だったり、「誰のことを言っているのかよく分からない」といった状態がある。これは「数の多さ」を推測しながら番組を進行する能

ければならない。

More!More!台湾

(文:You Li Xiang)

台湾の朝ごはん事情

1日のはじまりに欠かせないものといえば朝ごはん。日本では家で食べてから出掛けたり、コンビニで軽く買って会社で食べたりするのが一般的です。それでは台湾の朝ごはん事情はどうなっているのかご存知でしょうか?なんと台湾には朝ごはんの専門店があるのです。朝ごはん店は町のいたるところにあり値段も安いので、台湾の人たちは毎日そこで朝ごはんを買って食べます。きっと家で朝ごはんを作つて食べるの方が少ないのではないでしょうか?さて、ここで気になつてくるのがメニューですが、かなりの種類があります。卵をケレーブのような皮で包んだ「蛋餅(ダンピング)」、具沢山でもち米が使用されている台湾式おにぎりの「飯糰(ファンドアン)」、通称大根餅といわれるもちもつした食感の「蘿蔔糕(ルーボーガオ)」、そしてサンドイッチやハンバーガーなどもあります。まだ紹介しきれない程沢山のメニューがあるのですが、なかでも朝ごはんのお供として忘れてはならないのが「豆漿(ドウジャン)」です。これはいわゆる豆乳で台湾人の朝の始まりには欠かせない飲み物。台湾人は毎朝こ

ののような朝ごはん店で、その日の気分に合った朝ごはんと豆漿を買うのです。私も台湾に住んでいた頃は学校に行く途中、朝ごはん店に寄つて朝ごはんを食べていました。最初に食べたときは「おいしい」という言葉の前に「あわせ」という言葉が頭に浮かんだのを覚えています。この「しあわせ」の要因は美味しい朝ごはんだけではなく、店員のおばさんの優しさだったのかも?まだ言葉が全くわからない私に對して大きな笑顔で歓迎してくれたおばさん。その笑顔で台湾という国がとても身近に感じられました。美味しいごはんと優しいおばさんが歓迎してくれる台湾の朝ごはん店。皆さんも台湾に行く際はホテルの朝ごはんをキヤンセルして、町の朝ごはん店に出掛けみては?



朝ごはんの定番「蛋餅」

中華街で雙十節パレード



横浜中華街では10月10日(金)、「雙十節(そうじゅうせつ)」の祝賀イベントが横濱華僑各界慶祝雙十國慶大會委員会の主催により開催される。同イベントでは横濱中華學校庭にて民族芸能演技や雙十節慶祝式典、また中華街を一周する雙十節祝賀パレード、雙十節祝賀獅子舞など盛りだくさんの内容となっており、1日で異国情緒を体験できる。雙十節とは1911年10月10日に発生した武昌起義を記念している中華民国の国定祝日の1つ。別称は中華民国國慶日、雙十慶典。

お問い合わせ:

横濱華僑各界慶祝雙十國慶大會委員会
045-681-2114

Time for Taiwan

思い立ったが台湾吉日



日本よりも
ひと足早く春が訪れ、
桜の季節を迎えます。

旅行なら
台湾でしょ!
いざ台湾
楽しみ隊♪



旧暦5月5日の
端午節を過ぎると夏の季節が到来。
海開きも始まります。

一年で一番フルーツの
種類が豊富な季節。
ジューシーな
トロピカルフルーツ
が楽しめます。



11月に入ると
暑さが和らぎ、
穏やかな気候が続きます。



Taiwan
THE HEART OF ASIA

台灣觀光局
<http://jp.taiwan.net.tw/>



台灣觀光協會

●東京事務所 〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-8 川手ビル3階 TEL.03-3501-3591 FAX.03-3501-3586

●大阪事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満4-14-3 リゾートトラスト御堂筋ビル6階 TEL.06-6316-7491 FAX 06-6316-7398